

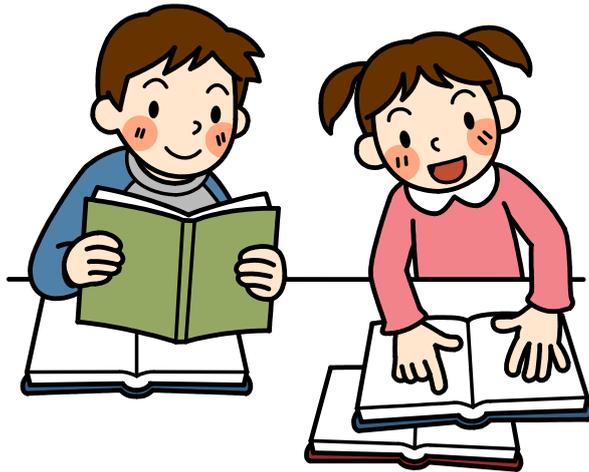
令和7年度版



上尾小のマスコット
あげみん



レッツ・チャレンジ
自主学習
略して チャシ学



^{かた}おうちの方と^よいっしょに読んで、

たの^{じしゅがくしゅう}楽しい自主学習、^{ちから}力が^み身につく^{じしゅがくしゅう}自主学習

^{めざ}を目指しましょう。

上尾市立上尾小学校

【おうちの方へ】

1 「レッツ・チャレンジ自主学习」の考え方

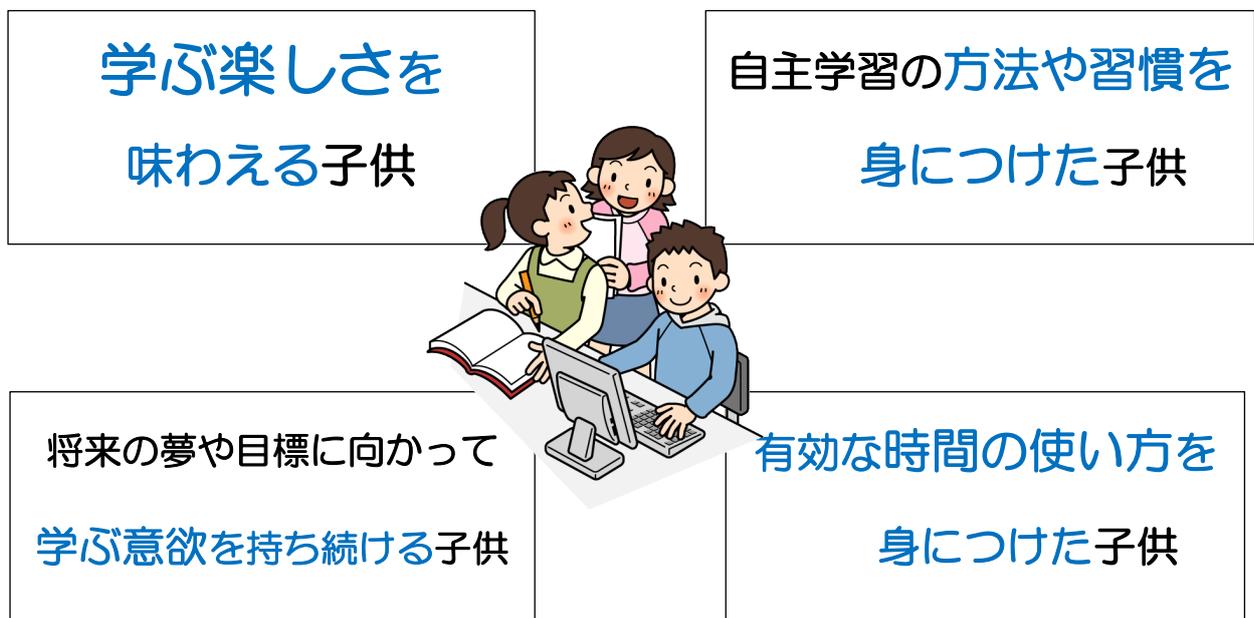
毎日の学習は、将来子供たちが社会人として自立するために必要な基礎・基本となる大切なものです。学校が授業を充実させることと合わせて、学校・家庭が連携して家庭における学習を進めることで、より確かな学力が定着していくものと考えます。特に小学校期においては、「宿題等」の与えられた課題をしっかりと行なえる資質を身に付けることは重要です。また、身近な疑問や興味のある事象について、「なぜ?」「どうして?」と考え、積極的に自分から聞いたり調べたりして楽しんで学習する姿勢は、今後の成長に役立ちます。

本冊子には、家庭学習の考え方や基本的な取組方法と「自主学习」の参考例を掲載しました。保護者の皆様には、子供たちと一緒にこの冊子をご覧ください、ご活用いただきますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、「自主学习」の取組については、取組頻度を決めたり提出を求めたり評価の対象としたりするものではありません。

※本取組を広めるために、児童の取組を称賛しながら学級等で紹介するような場合があります。

2 「レッツ・チャレンジ・自主学习」を通して 育てたい子供たちの姿



3 自主学習の習慣化へのステップ

やらされるのではなく
自分から取り組む家庭学習にするために

その1 基本的な生活習慣を身につけましょう

(1) けじめのある生活ができる

- 時刻を守る
- 身の回りの整理整頓をする
- 進んであいさつや返事をする

「いつでも どこでも 誰にでも (上尾小あいさつのキャッチフレーズ)」

○ていねいな言葉づかいができる

(2) 約束やきまりを守ることができる

- 学習のきまりを守る
- 生活のきまりを守る

「早寝・早起き・朝ごはん」



その2 学習する環境を整えましょう

- (1) いつも決まった場所で勉強できる
- (2) 一定の時間を決めて勉強できる 「何時から?何時まで」
- (3) ~しながらではなく、集中をして勉強できる

その3 子供のがんばいを誉めて励まして

認めて やる気を育てましょう

そのためのコツは、子供がやる気になる魔法の言葉をかけてあげることです

「自覚」「自信」「自主」「自律(立)」

- (1) 「ていねいに書けたね。」
- (2) 「前より上手になったね。」
- (3) 「よく考えたね。」
- (4) 「この問題が解けるのはすごいね。」
- (5) 「よく調べることができたね。もっと教えて。」
- (6) 「集中してがんばったね。」 etc

★個々の子供の力に応じて、負荷をかけたり誉める基準を変えたりすることが重要です。

【上尾小児童のみなさんへ】

学校の授業と同じように、おうちで学習をすることも大事なことです。

勉強をしたことは、その時に「わかった」「おぼえた」という気持ちになっても、その先ずっと使わないでいると、せっかく覚えた知識も、残念ながら忘れてしまうことが多いのです。だからこそ、学校で習った学習内容は、学校の中でも、お家に帰っても、繰り返し繰り返し、使える時は使っていくことで、本物の知識（使える知識＝役に立つ知識）として身につけていきます。

もう一つ、身近な疑問や自分の興味のあることなどを、自分から聞いたり調べたりすることもとても大切なことです。この気持ちで学習すると、勉強が楽しくなったり、学んだことがずっと残ったりします。さらには、興味が広がり、もっと深く勉強したくなったりします。良いことづくしです。

何よりも、楽しく学ぶこと、これが、自主学習の大切な意味なのです。



①まずは宿題がある場合は、先にやりましょう。

②次に自主学習にチャレンジしてみましょう。

ア 読み 書き 計算 自分にとって大事だと考える学習は何か？

イ 身近な疑問や自分の興味のあることは何か？

ウ 勉強の方法も、研究を重ね、自分自身に合った（効果的な）方法を編み出しましょう。

**さあ、「レッツ・チャレンジ自主学習(チャレ学)」
を参考にやってみましょう！**



第1・2学年

基本的な学習習慣を身に付ける

第1学年・2学年では、「早寝・早起き」「規則正しい食生活」「朝の排便」等、基本的な生活習慣を身に付けることが学習習慣の定着には欠かすことができないと考えます。

ご家族の助けを借りながら、学校での学習を受け、学習内容や方法を決め、できたことを誉めて認めてあげることによって、興味・関心を引き出し、意欲を高めることができます。

学習時間のめやす

20～30分

学習の特徴は・・・

- 学校では、45分を1単位時間とした授業の中で、「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な内容を学習します。その中には、繰り返し練習することで力が身につく学習内容がたくさんあります。
- 「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「明日の授業の準備をする」「身の回りの整理整頓をする」ことが学習の基本です。
- 生活と結びついた学習が多く、身近な物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心となります。

ご家庭での援助は・・・

- 学習を始める前に、勉強をする場（机やテーブル）の整理整頓をしましょう。そして、集中できるように、テレビや音楽は消しましょう。～ながらの学習は効果が出ません。
- 学習時間を〇時〇分から〇時〇分まで、と決めて、学習を進めている間は、目の届く範囲で近くにいてあげましょう。
- 「宿題」が出されていたら、最後までやらせることを第一としましょう。可能な限り、子供の学習を見届けてあげられると良いです。
- 一緒に買い物をしたり、時計を読んだりして、子供の生活経験を増やしましょう。また、ふと思った「疑問」を「どうしてかな？」と投げかけて一緒に考えてあげましょう。

家庭学習の内容



国語

【音読】

- 楽しみながら、大きな声で読めるようにしましょう。
- 句読点（「、」「。」）に気をつけて、すらすらと読めるように練習をしましょう。
- 毎日続けて練習しましょう。
- ※聞いてあげたら、一言感想を言ってあげることも大切です。

【平仮名・片仮名・漢字】

- 書き順や文字の形に気をつけて書きましょう。
- マスや行からはみださないように書きましょう。
- 正しい姿勢で、丁寧にゆっくりと書きましょう。
- 自分の名前もしっかりと書きましょう。

【読書・音読】

- 子供の興味や関心に合った本をまわりに置きましょう。
- 学校で配付している「読書パスポート」を活用しましょう。
- 家族が「読み聞かせ」をしてあげることも大切なことです。

算数

- 計算の力を高めるためには、まずはゆっくり正確に計算できるように、正しい計算手順を確実に身に付けましょう。
- 計算カード等を使って繰り返し練習をしましょう。
- 正しく計算できるようになったら、少しずつ早くできるように練習しましょう。
- 間違った問題は必ず見直しをして、もう一度やり直すことが重要です。

その他

- 鍵盤ハーモニカを練習しましょう。〈音楽〉
- 生き物（動植物）の観察をしましょう。〈生活〉
- 楽しかったこと、うれしかったことを自分の言葉で絵日記や日記にしてみましょう。
- できたこと、できるようになったこと、挑戦していることは誉めて認めてあげましょう。

1年生 べんきょうのヒント

- はじめに **しゅくだい** を します。
★おわったら おうちの ひとに みて もらいましょう★
- つぎに **ひょうの中の べんきょう** を してみましょう。

【こくご】

やること	べんきょうの しかた
1 きょうかしよを よむ	○がっこうで べんきょうを している ところを よむ。 かいすうは 2～3かい。
2 ひらがな・カタカナを かく	○ならった じを ただしい かきじゅんで れんしゅうする。ますから はみださない ように きをつける。
3 かんじを かく	○ならった かんじを れんしゅうする(ドリルを つかう)

【さんすう】

1 きょうかしよを よむ	○がっこうで べんきょうを している ところを よむ。 ○きょうかしよの もんだいを もういちど ノートに やってみる。 → あっていたら ○をつける。 → まちがえていたら やりなおす
2 けいさんの れんしゅうをする	○ならった けいさんを れんしゅうする(ドリルを つかう) ○もんだいばんごうを かき もんだいを ノートにかく。 ○しきや こたえを かく。 ○○つけをする。 → あっていたら ○をつける。 → まちがえていたら やりなおす。

【チャレンジ】

・どくしよを する	・がっこうやとしょかんで かりたほんを よむ。 ・もっている ほんを よむ。 ・よみおわったら どくしよパスポートに きろくする
・にっきを かく	・そのひにあったこと かんがえたことを かく。 ※いつ・どこで・だれと・なにを したか など ・ならった ことば ひらがな かたかな かんじをつかう。

★おわったら おうちの ひとに みて もらいましょう★

★タブレットで でんしドリルを つかって べんきょう することもたのしいよ★

2年生 べんきょうのヒント

- はじめに **しゅくだい** を します。
★おわったら おうちの 人に見て もらいましょう★
- つぎに **ひょうの中の べんきょう** を してみましょう。

【こここ】

やること	べんきょうの しかた
1 きょうかしよを よむ	○がっこうで べんきょうを している ところを よむ。 かいすうは 2～3かい。
2 かん字を かく	○ならった かん字を れんしゅうする(ドリルを つかう) ※マスから はみださないように きをつける。 ○ならった かん字をつかって みじかい文を つくる。

【さんすう】

1 きょうかしよを よむ	○がっこうで べんきょうを している ところを よむ。 ○きょうかしよの もんだいを もういちど ノートに や っていみる。 → あっていたら ○をつける。 → まちがえていたら やりなおす
2 けいさんの れんしゅう うを する	○けいさんカードや九九カードを つかって れんしゅうす る。 ※じかんをはかって せいかくに はやく できるように! ○ドリルをつかって けいさんを れんしゅうする。 ・もんだいばんごうを かき もんだいを ノートに かく。 ・しきや こたえを かく。 ・○つけをする。 → あっていたら ○をつける。 → まちがえていたら やりなおす。

【チャレンジ】

・どくしよを する	○学校としょかんで かりた本を よむ。 ○もっている 本を よむ。 ○よみおわったら どくしよパスポートに きろくする。
・にっきを かく	○その日にあったこと かんがえたことを かく。 ※いつ・どこで・だれと・なにを したか など ○ならったことば ひらがな かたかな かん字をつかう。

★おわったら おうちの ひとに みて もらいましょう★

★タブレットで でんしドリルを つかって べんきょう することもたのしいよ★

第3・4学年

自主的な学習習慣を身に付ける

第3学年・4学年では、自立心が芽生えてくるとともに、何でも「自分でやってみよう」とする「やる気」が育つ時期です。この時期の子供は、言葉の獲得能力が向上し、抽象的な思考ができるようになるとも言われています。一方で、「勉強が難しく

なってきた」という戸惑いや苦手意識も生まれてくるこの時期。言葉かけや励ましによって、自信を持たせ、意欲を高めることが大切です。

学習時間のめやす

40～50分

学習の特徴は、

- 「総合的な学習の時間」「社会科」「理科」が新しい教科として始まり、学習内容が大きく広がります。
- 国語辞典や漢字辞典、地図帳、タブレットやPCなどの使い方を学び、自分で調べる学習をする機会が増え、自主学習の基礎を学びます。
- 算数では、四則演算（＋、－、×、÷）の基礎を徹底して学ぶとともに、分数や小数など、少しずつ抽象的な内容も学ぶようになります。
- 生活と結びついた学習が多く、身近な物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心となります。

ご家庭での援助は、

- 温かい励ましの言葉でやる気を起こしたり、宿題や持ち物の点検をしたりする支援が必要です。任せられるようになってきたら、少しずつ自分の力でできるように見守って行きましょう。
- 自分から机に向かうことができるよう、声をかけることが重要です。
- 学習をする前には、机の上を片付け、集中して学習ができる環境を整えさせてから取り組ませましょう。また、連絡帳をもとに、その日の宿題や翌日の持ち物の確認等も自分でできる習慣をつけさせましょう。
- 社会や理科で学習する地域の文化や産業、自然に触れさせる体験をさせましょう。

家庭学習の内容



国語

【音読】

- カードを活用しながら、毎日音読をする習慣を身に付けましょう。
- 文章を正確に読むことができるようにしましょう。
- ※聞いてあげたら、一言感想を言ってあげることも大切です。

【漢字】

- 正しい書き順で、文字の形に気をつけながら書きましょう。
- マスや行からはみださないように丁寧に書きましょう。
- とめ、はね、はらいを意識して書きましょう。

【言葉】

- 国語辞典や漢字辞典を手元に置き、使い方に慣れさせましょう。

【読書】

- 様々な分野の本を選んで読むようにしましょう。

算数

- かけ算や割り算など、正しい計算手順が身につくよう、毎日練習しましょう。できるようになったら、「正確さ」と「速さ」を高めていきましょう。
- 三角定規や分度器、コンパスを正確に操作できるように、繰り返し練習しましょう。
- 間違った問題は必ず見直しをして、もう一度やり直すことが重要です。

その他

- 学習した内容を振り返り、苦手なところや計算・漢字の練習を繰り返しやりましょう。
- 社会や理科で学習する地域社会の文化や産業、自然に触れる体験をしましょう。
- リコーダーで習った曲を練習しましょう。
- 外国語で習った言葉やフレーズを使ってみましょう。
- 図工でならった技法で絵を描いたりものを作ったりしてみましょう。
- 書くこと、タブレットを使うことはバランス良く使い分けるようにしましょう。
- できたこと、できるようになったこと、挑戦していることは誉めて認めてあげましょう。

【じどうよう】

3・4年生

べんきょうのヒント

1 はじめに、**宿題**をします。

★わからないところは、お家の方や先生に教えてもらいましょう★

2 つぎに、**表のような 学習**をしてみましょう。

【国語】

やること	べんきょうの しかた
1 教科書を読む	○学校で学習をしているところを読む。声に出して読むとよいでしょう。
2 漢字を練習する	○習った漢字を練習する（ドリルを使う） ※マスからはみ出さないように気をつける。 ○習った漢字を使って短い文を作る。 ○自分で問題を作りやってみる。5～10問。 自分で○つけをする。間違っものは繰り返し練習する。
3 意味調べをする	○語句（言葉）をノートに書き、辞典で意味や例文を書く。 ○調べた語句（言葉）を使って、短い文を作る。

【算数】

1 授業のふく習をする	○教科書やノートを見直して、授業で習ったことをもう一度ノートにやってみる。 ○○つけをして、まちがったものはもう一度やってみる。
2 計算の練習をする。	○ドリルを使って計算練習をする。 ・問題番号を書き、問題をノートに書いて解く。 ・式や（筆算）、答えを書く。 ・○つけをする。 → あっていたら ○をつける。 → まちがえていたら やり直す。
3 予習をする	○次の時間で学習するところを読む。

【社会】

1 授業のふく習をする	○教科書の習ったところを読む。 ○ノートやプリントを見直して、教科書の大切なところをマーカーや赤色で線を引く。 ○もう一度ノートにまとめてみる。
2 予習をする	○次の時間で学習するところの教科書を読む。 ○大切だと思うところをマーカーで線を引く。 ※ふく習と色を変えると良い。

【理科】

1 授業のふく習をする	○教科書の習ったところを読む。 ○ノートやプリントを見直して、教科書の大切なところをマーカーや赤色で線を引く。 ○大切だと思う「図やグラフ・絵」などを書く。
2 予習をする	○次の時間で学習するところの教科書を読む。 ○大切だと思うところをマーカーで線を引く。 ※ふく習と色を変えると良い。

【チャレンジ】

・読書をする	○学校や図書館でかりた本を読む。 ○持っている本を読む。 ○読み終わったら感想文を書く。
・日記を書く	○その日にあったことや考えたことを書く。 ※いつ・どこで・だれと・なにを したか など ※タイトルをつけてみる ○習った漢字や言葉を使う。 ○書き始めを工夫してみる。

【トライ】

<ul style="list-style-type: none">・詩をつくる・ことわざを調べる・四字熟語を調べる・漢字の成り立ちを調べる・図形をかき（三角定規や分度器を使って）・アルファベットを練習する・ローマ字を覚える・習った外国語を調べる、使ってみる・リコーダーで習った曲を練習する・興味をもったことについて調べる → ノートにまとめる ミニ新聞をつくる・新聞の切り抜きをノートにはって、一言感想を書く・買い物に行った時に、商品がどこでつくられているかを調べる・地図帳を見る・地図記号を書く・行ったことのある場所について調べる・身近な物を描いてみる・習った技法で物を作ってみる	などなど
--	------

★何をやった良いかわからない時は、先生に相談してみよう★

★終わったら、お家の方に見てもらいましょう★

★タブレットで電子ドリルを使って勉強することも楽しいよ★

第5・6学年

【保護者用】

自学自習の習慣を身につける

第5学年・6学年では、身体も大きく成長し、自己肯定感を持ち始める時期です。一方で、発達個人差も大きくなることから、自己に対する肯定感を持たずに劣等感を持ちやすくなる時期です。そのために、できないことに対して消極的になったり、初めからあきらめてしまったりすることも表れることがあります。

学習時間のめやす

60～70分

学習に対する興味・関心・意欲を高めるためにも、言葉かけが重要になります。目標を決め、実践と振り返りを繰り返し行えるように助言し、温かく見守っていきましょう。

また、生活のリズムを崩さないように、基本的な生活習慣を見直すことも大切です。

学習の特徴は、

- 学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
- 筋道を立てて考える力や広い視野で物事を見る力が必要になります。
- 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを経験することで、ものの見方や考え方を身に付けることができます。

ご家庭での援助は、

- 子供の「自己肯定感」を育てるように、誉めたり励ましたりすることが大切です。
- 「家族としての一員」という意識を持たせるために、お手伝いや役割を決め実行させ、その行動等に対して「認める」言葉をかけることが大切です。
- スケジュール感を持たせながら学習計画を立てさせ、継続して実行できるように声かけをしていきましょう。
- 学校で習うことの発展やふと疑問に思ったことを積極的に調べることを数多く経験させましょう。家族で一緒に考えることも、やる気を高める一つの方法です。

家庭学習の内容



国語

【音読】

- カードを活用しながら、毎日音読をする習慣を身に付けましょう。
- 物語文では、情景を思い浮かべながら感情を込めて読むなど、めあてを決めて練習しましょう。
- 説明文では、筆者の言いたいことなど、文の構成を考えながら正確に読みとることができるようになりましょう。

【漢字】

- 漢字の構成や字形に意識して書きましょう。
- マスや行からはみださないように丁寧に書きましょう。
- とめ、はね、はらいを意識して書きましょう。

【言葉】

- 国語辞典や漢字辞典を手元に置き、積極的に活用しましょう。

【読書】

- 様々な分野の本を選んで読むようにしましょう。

算数

- 計算力をつけることができるように、苦手な計算は繰り返し練習しましょう。
- 三角定規や分度器、コンパスを正確に操作できるように、繰り返し練習しましょう。
- 間違った問題は必ず見直しをして、もう一度やり直すことが重要です。
- 文章題では、問われていることをしっかりと捉え、どのような考え方をすれば答えに結びつくのか、筋道を立てて考えられるようにしましょう。

その他

- 学校で学習したことを、教科書やノート・プリントを見直して、もう一度自主的に勉強したり、苦手なことに挑戦したりしましょう。
- 日記や感想文など、文章を書く機会を増やしましょう。
- 理科や社会で学習した内容をさらに広げて調べてみましょう。
- 「身近にある不思議」について、自主的に調べてまとめてみましょう。
- どのようなことをどのような方法で勉強すればよいのかを考えることも勉強です。

5・6年生 勉強のヒント

1 はじめに、**宿題**をします。

★わからないところは、お家の方や先生に教えてもらいましょう★

2 次に、下記で紹介する**学習**をしてみましょう。

【国語】

やること	べんきょうのしかた
1 教科書を読む	○学校で学習をしているところを読む。声に出して読むと良いでしょう。
2 漢字を練習する	○習った漢字を練習する（ドリルを使う） ○習った漢字を使って短い文を作る。 ○自分で問題を作りやってみる。5～10問。 自分で丸つけをする。間違っものは繰り返し練習する。
3 意味調べをする	○語句（言葉）をノートに書き、辞典で意味や例文を書く。 ○調べた語句（言葉）を使って、短い文を作る。

【算数】

1 授業の復習をする	○教科書やノートを見直して、授業で習ったことをもう一度ノートにやってみる。 ○丸つけをして、間違えた問題はもう一度やってみる。
2 計算の練習をする。	○ドリルを使って計算練習をする。 ・問題番号を書き、問題をノートに書いて解く。 ・式や（筆算）、考え方、答えを書く。 ・丸つけをする。 → あっていたら丸をつける。 → まちがえていたらやり直す。
3 予習をする	○次の時間で学習するところを読む。

【社会】

1 授業の復習をする	○教科書の習ったところを読む。 ○ノートやプリントを見直して、教科書の大切なところをマーカーや赤色で線を引く。 ○もう一度ノートにまとめてみる。
2 予習をする	○次の時間で学習するところの教科書を読む。 ○大切だと思うところをマーカーで線を引く。 ※復習と色を変えると良い。

【理科】

1 授業の復習をする	○教科書の習ったところを読む。 ○ノートやプリントを見直して、教科書の大切なところをマーカーや赤色で線を引く。 ○大切だと思う「図やグラフ・絵」などを書く。
2 予習をする	○次の時間で学習するところの教科書を読む。 ○大切だと思うところをマーカーで線を引く。 ※復習と色を変えると良い。

【チャレンジ】

・読書をする	○学校図書館でかりた本を読む。 ○持っている本を読む。 ○読み終わったら感想文を書く。
・日記を書く	○その日にあったことや考えたことを書く。 ※いつ・どこで・だれと・なにを したか など ※タイトルをつける ○習った漢字や言葉を使う。 ○書きはじめを工夫する。 ○会話文を使ったり、段落をつけたりして書く。

【トライ】

・詩や俳句、短歌をつくる ・詩や作文を応募してみる（○○新聞等） ・ことわざを調べる ・四字熟語を調べる ・漢字の成り立ちを調べる ・自分で物語を書く ・ローマ字を練習する ・図形をかく（三角定規や分度器を使って） ・習った英語について調べる、使ってみる ・買い物に行った時に、商品がどこでつくられているかを調べる ・歴史年表をつくる ・歴史上の登場人物について調べる ・身近な政治について調べる ・様々な国について調べる ・地図帳を見る ・地図記号を書く ・行ったことのある場所について調べる ・様々な自然現象について調べる ・天体について調べる ・裁縫を練習する ・簡単な調理をしてみる → 記録する ・リコーダーの練習をする ・身近なものを絵に描く ・レタリングの練習をする ・興味をもったことについて調べる → ノートにまとめる ミニ新聞をつくる ・新聞の切り抜きをノートにはって、一言感想を書く などなど	
--	--

やり方がわからなかったら、お家の方や先生に相談したり、自主勉強を上手に取り組んでいる友だちにノートを見せてもらったりして、ヒントをもらおう！

「とにかくやってみないと始まらない！」

★取り組んだら、お家の方に見てもらいましょう★

★タブレットで電子ドリルを使って勉強することも楽しいよ★

レッツ・チャレンジ自主学習

通称 **チャレ学** **で**

楽しみながら学びましょう！

